

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 Frozen elephant trunk 手術の今後の課題</p> <hr/> <p>●研究の対象 2009年5月～2020年12月までに大動脈解離に対して胸部大動脈ステントグラフト留置を施行した患者57名、開胸手術の際に術野から胸部大動脈ステントグラフト留置（Frozen elephant trunk）を施行した患者25名</p> <hr/> <p>●研究の目的 ステントグラフト留置に関連した大動脈内膜損傷が起こることが報告されており、内膜損傷の頻度とその特徴を検討し、特にFrozen elephant trunk 固有の問題点を明らかにすることを目的としました。</p> <hr/> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2027年1月31日まで</p> <hr/> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 使用デバイスの種類、サイズ、数、またCT画像から大動脈径、解離腔の状態、内膜損傷の有無に関する情報等を利用します。</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 第一外科 鷺山 直己</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>浜松医科大学 第一外科 鷺山 直己</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 第一外科</p> <p>担当者： 鷺山 直己</p> <p>TEL： 053-435-2276</p> <p>E-mail： 07112957@hama-med.ac.jp</p>